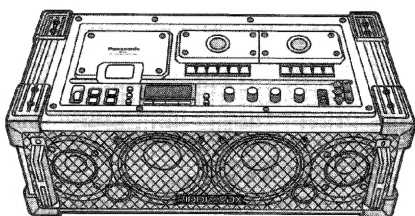


Panasonic®

パーソナルPAシステム 取扱説明書

品番 RX-PA7



もくじ

準備

安全上のご注意	2
電源の準備	6
各部のなまえ	6
放送局を記憶させる	8

演奏

ラジオを聞く	9
テープを聞く	10
CDを聞く	11

録音

録音の前に	14
CDを録音する	15
テープからテープへ録音する	16
ラジオ放送を録音する	17

タイマー

おやすみタイマーを使う	17
-------------	----

その他の機能

マイクを使う	18
ベースギターを使う	18
エレキギター・キーボードを使う	19
他の機器と組み合わせる	20
ヘッドホンで聞く	20
ミキシングをする	21

ご参考

CDについて	23
テープについて	23
お手入れ	24
著作権について	24
故障かな!?	25
保証とアフターサービス	26
主な仕様	裏表紙

付属品

□電源コード (1本)

(品番: SJA161A-1)

買い替えは、お買い上げの販売店へご相談ください。

COMPACT
disc
DIGITAL AUDIO

このたびは、パーソナルPAシステムをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

■この説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。そのあと保存し、必要なときにお読みください。

■保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

保証書別添付

上手に使って上手に節電

RQT4184-2S

安全上のご注意

必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った使い方をした時に生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

■お守りいただきたい内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。
(下記は絵表示の一例です。)

警告

この表示の欄は、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。

注意

この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。



このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。



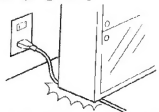
このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

警告

電源コードについて

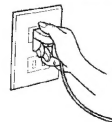
電源コード、電源プラグを破損するようなことはしない

傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重い物を載せたり、束ねたりしない。



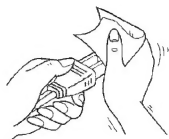
- 傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。
- コードやプラグの修理は、販売店にご相談ください。

電源プラグは根元まで確実に差し込む



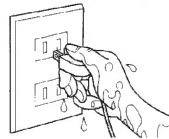
- 差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。
- 傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは使用しないでください。

電源プラグのほこりなどは定期的にとる



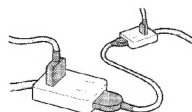
- プラグにほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。
- 長期間使用しないときは、電源プラグを抜いてください。

ぬれた手で、プラグの抜き差しはしない



- 感電の原因になります。

コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、交流 100V 以外での使用はしない

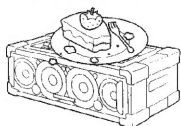


- たこ足配線などで、定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

警告

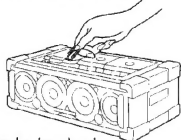
ご使用について

機器の上にものを載せない



- 開閉時に、ものが内部に入り込み、感電、火災の原因になります。

機器内部に金属物を入れない

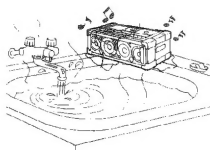


- 感電の原因になります。
- 特にお子さまにはご注意ください。

水をかけたり濡らしたりしない



水場使用
禁止

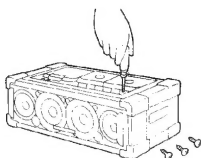


- 機器が故障したり、ショートや発熱により、火災や感電の原因になります。
- 水が入ったときは、電源プラグを抜き、販売店にご相談ください。
- 雨天、降雪中、海岸や水辺での使用は、特にご注意ください。

分解、改造したりしない



分解禁止



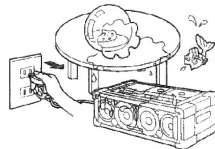
- 内部には電圧の高い部分があり、感電の原因になります。
- 内部の点検や修理は、販売店へご依頼ください。

もし、異常が起こったら

機器内部に金属や水、異物が入ったら、電源プラグを抜く



電源プラグ
を抜く

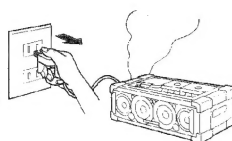


- そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。
- 販売店にご相談ください。

煙や異臭、異音が出たり、落下、破損したときは電源プラグを抜く



電源プラグ
を抜く



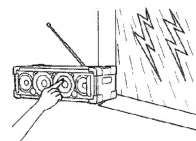
- そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。
- 販売店にご相談ください。

雷について

雷が鳴ったらアンテナや機器に触れない

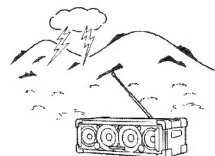


接触禁止



- 感電の恐れがあります。

雷が鳴ったら、屋外で使わない

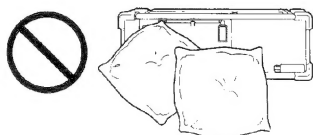


- 落雷の恐れがあります。
- 使用しているときは、すぐに機器から離れてください。

⚠ 注意

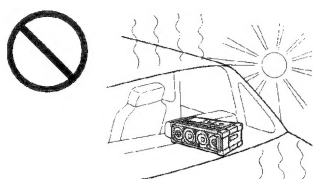
設置・接続について

放熱を妨げない



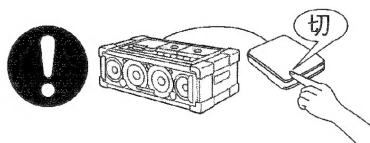
- 内部に熱がこもると、機器のケースが変形したり、火災の原因になります。本機後面の放熱孔をふさがないように、ご注意ください。

異常に温度が高くなるところに置かない



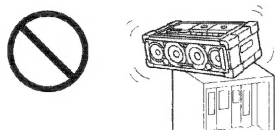
- 機器表面や部品が劣化するほか、火災の原因になることがあります。
- 夏の閉め切った自動車内や直射日光の当たるところ、ストーブの近くでは特にご注意ください。

接続前に接続先のすべての電源を「切」しておく



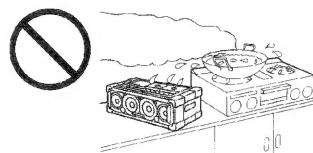
- 電源の入った状態で接続すると、突然大きな音が出て聴力障害の原因になることがあります。

不安定な場所に置かない



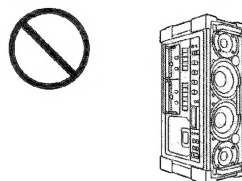
- 機器が落ちたり、倒れたりして、けがの原因になることがあります。

油煙や湯気の当たるところや湿気やほこりの多いところに置かない



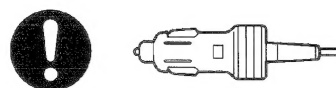
- 電気が油や水分、ほこりを伝わり、火災や感電の原因になることがあります。

本機を縦向きにして使用しない



- 転倒して、けがや破損の原因になることがあります。また、本機が正常に機能しない恐れがあります。

カー電源アダプターとバッテリーパックは推奨品を使用する



- 推奨品以外のカー電源アダプターを使用すると、火災の原因になることがあります。

⚠ 注意

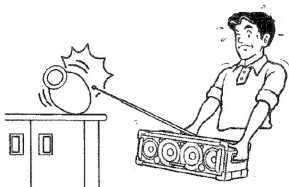
持ち運びについて

コードを接続した状態で移動しない



- 接続した状態で移動させようとする、コードが傷つき火災や感電の原因になることがあります。
- また、引っかかったりして、けがの原因になることがあります。

アンテナをのばしたまま持ち運ばない



- アンテナにもものが引っかかったり、当たったりして、けがの原因になることがあります。

スピーカーのプロテクターを持って運ばない



- 機器の重さでプロテクターがはすれ、落下してけがや破損の原因になります。

ご使用について

ひび割れ、変形したディスクは使わない



- 高速回転しますので、飛び散ってけがの原因になることがあります。
- 接着剤などで補修したディスクも同様に危険ですので使用しないでください。

ヘッドホン使用時は、音量を上げすぎない



- 耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

機器にのらない



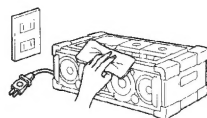
- 倒れたりして、けがの原因になることがあります。
- 特に小さいお子さまにはご注意ください。

お手入れについて

お手入れの前には、電源プラグを抜く



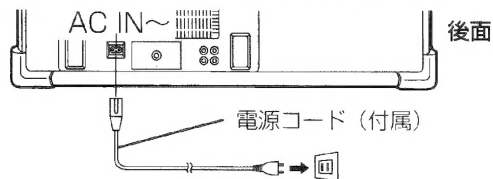
電源プラグを抜く



- 入れたままにしておくと、感電の原因になります。

電源の準備

家庭用コンセントで使う



家庭用コンセント (AC100V 50/60Hz)

- カー電源アダプターは抜いておいてください。
- 電源コードを抜くときは、故障を避けるために、[POWER] を押して電源を切ってください。

長期間使用しないときは

節電のため電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いておくことをおすすめします。

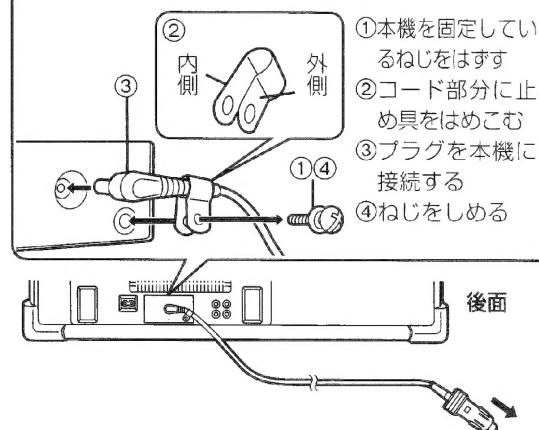
ただし、再使用時には、放送局の設定など、各種メモリーの再設定が必要です。(電源スイッチを切った状態でも、約6.9Wの電力を消費しています。)

カー電源またはバッテリーパック (別売り) で使う

別売りのカー電源アダプター (推奨品: RP-AK120、長さ5m、別売り) と接続して、自動車の電源または、バッテリーパック (推奨品: BQ-100、別売り) から使うことができます。(BQ-100を使用すると、フル充電で約2時間の使用ができます。)

詳しくは、カー電源アダプターの取扱説明書をご覧ください。

使用中にカー電源アダプターのプラグが抜けないように止め具とねじで本機に固定してください。



車のシガレットライター、またはバッテリーパックのソケットへ

お知らせ

エンジンをかけずに自動車の電源に接続して続けて使うときは、バッテリーが上がることもあるのでご注意ください。

各部のなまえ

●黒丸の数字は主な参照ページを表します。

- ① CD トレイ
- ② TUNE MODE (ラジオ選局
モード選択) ボタン ⑨
- ③ ▲ CD ^{オープン} OPEN (CD トレイふた開け)
ボタン ⑪
- ④ CD ^{プレイ} PLAY MODE
(CD 演奏切り換え) ボタン ⑬⑭
- ⑤ A-B ^{リピート} REPEAT
(A-B リPEAT) ボタン ⑬
- ⑥ ^{メモリー} MEMORY
(CD 予約、ラジオ番組予約) ボタン ⑧⑫

- ⑦ ▶/|| (CD 演奏/一時停止) ボタン
⑪ ~ ⑮

次のボタンは動作状態によって働きが変わります。

- ⑧ ■/CLEAR FM MODE/ ^{クリアー} B P ^{モード} ^{ビートブルーフ}
ボタン
 - CD 演奏時：
 - CD の停止 ⑪
 - CD 演奏予約の解除 ⑫⑬
 - ラジオ受信時：
 - FM 放送のステレオ・モノラルの切り換え ⑨
 - AM ビートブルーフ ⑮
- ⑨ -/||◀、+/||▶ ボタン
 - CD 演奏時：
 - 選曲、早送り、早戻し ⑪
 - ラジオ受信時：
 - ラジオ選局 ⑧⑨

⑩ ●^{レック} REC (テープ録音) ボタン ⑮ ~ ⑳、㉒

⑪ ▶ ^{プレイ} PLAY (テープ再生) ボタン ⑩

⑫ ◀◀ ^{リワインド レビュー} REW/REV (巻き戻し/くり返し) ボタン ⑩

⑬ ▶▶ ^{スキューン} FF/CUE (早送り/頭出し) ボタン ⑩

⑭ ■/▲ ^{ストップ イジェクト} STOP/EJECT (停止/取り出し) ボタン
⑩⑮ ~ ⑰

⑮ || ^{ポーズ} PAUSE (テープ一時停止) ボタン ⑩

⑯ ^{デッキ} DECK1 (デッキ 1)

デッキ 2 操作部
(⑪~⑮と同じ働きをします。)

⑰ ^{デッキ} DECK2 (デッキ 2)

⑲ ^{パワー} POWER (電源)
ボタン ③

㉑ ^{セレクター} SELECTOR
(CD・TAPE・
FM/AM・AUX)
選択ボタン ③ ~
⑪⑲

㉒ ^{スリープ} SLEEP (おやすみ
タイマー) ボタン ⑰

⑳ ^{インプット} INPUT (ギター・キーボード接続)
端子 ⑲

㉓ ^{ミキシング マイク ベースギター} MIX MIC/BASS GUITAR (マイク・
ベースギター接続) 端子 ⑲

㉔ Ω (ヘッドホン接続) 端子 ㉔

㉕ ^{セレクター} SELECTOR (電子楽器入力モード選択) スイッチ ⑲

㉖ ^{マイク ベースギター} MIC/BASS GUITAR (マイク、ベースギター音量調整) つまみ ⑲

㉗ ^{トレブル} TREBLE (高音部調整) つまみ ⑨⑩⑪⑱⑲

㉘ ^{バス} BASS (低音部調整) つまみ ⑨⑩⑪⑱⑲

㉙ ^{ボリューム} VOLUME (音量調整) つまみ ⑨⑩⑪⑱⑲

放送局を記憶させる

本機は放送局を記憶させることができます。記憶させておくと、次から簡単に選局できます。

FM、AM を別々に記憶させてください。(各 10 局まで)

- 1** **[POWER]** を押す 電源が入ります。
- 2** **[FM/ AM]** を押して、バンドを選ぶ
押すたびに： FM ↔ AM
TV 音声 (1 ~ 3ch) を聞くときは、FM を選びます。
- 3** **[MEMORY]** を押す
- 4** **[-/◀◀]**、**[+/▶▶]** を押して、
放送局を選ぶ
TV 音声 1 ~ 3ch の受信位置
95.7MHz - TV 1ch - 95.8MHz
101.7MHz - TV 2ch - 101.8MHz
107.7MHz - TV 3ch - 107.8MHz
- 5** **[MEMORY]** を押す
- 6** **[-/◀◀]**、**[+/▶▶]** を押して、プリ
セットチャンネルを選ぶ
- 7** **[MEMORY]** を押す
- 8** **3 ~ 7** をくり返す

記憶の保持について

電源コードを抜いた状態で、約 1 週間保持されます。

本機の TV 受信回路について

FM 受信回路と兼用しているため、2 または 3 チャンネルに FM が混信することがあります。

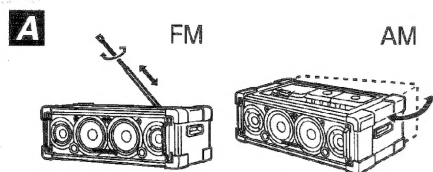
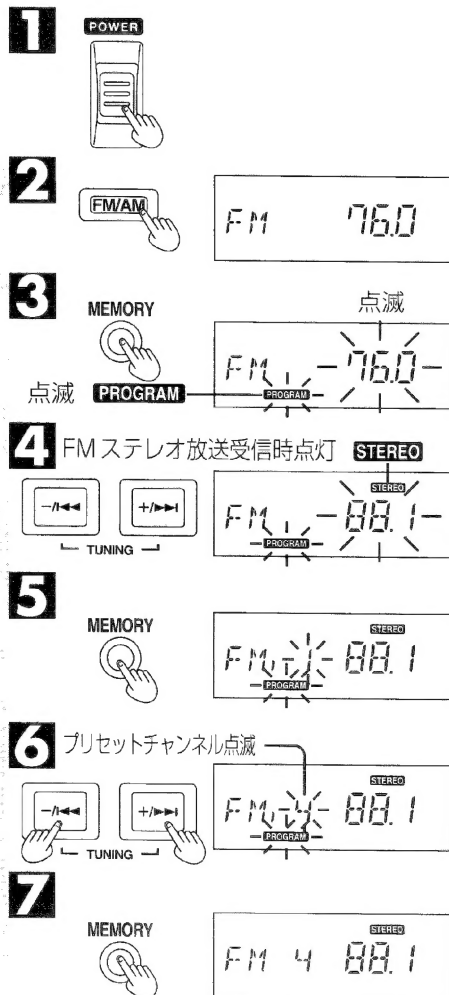
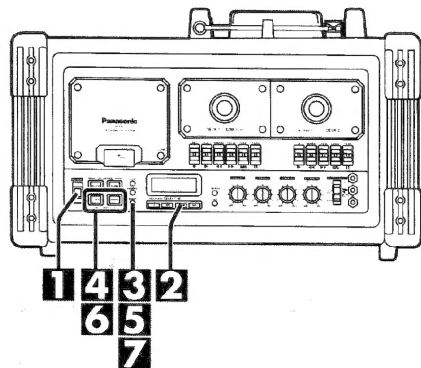
不要なプリセット番号を消すには

- ① 不要なプリセットチャンネルを選局する (9 ページ)
- ② **[MEMORY]** を 2 回押す ("**PROGRAM**" が点滅)
- ③ "**PROGRAM**" の点滅中に、プリセットチャンネル表示が "—" になるまで **[+/▶▶]** を何度も押す
- ④ **[MEMORY]** を押す
次から選局するときは、消されたプリセットチャンネルをとばして選局できます。

アンテナを調整するには **A**

FM：ホイップアンテナの長さや向きを調整する

AM：本体の向きを調整する



ラジオを聞く

- 1** **[POWER]** を押す 電源が入ります。
- 2** **[FM/ AM]** を押してバンドを選ぶ
押すたびに： FM ↔ AM
- 3** **[TUNE MODE]** を押して、選局方法を選ぶ
押すたびに： PRESET ↔ 消灯
放送局を
●記憶させたとき：“PRESET”（プリセット選局）
●記憶させていないとき：消灯（マニュアル選局）
- 4** **[-/◀◀]** または **[+/▶▶]** を押して、放送局を選ぶ
- 5** 音量、音質を調整する
[VOLUME] : 音量
[BASS] : 低音部
[TREBLE] : 高音部

自動選局するには（オートチューニング）

放送局を記憶させていないときの、簡単な選局方法です。
[-/◀◀] または [+/▶▶] を押し続け、周波数が動き始めたら指を離す。
最初に受信した放送局で周波数が自動停止します。

お知らせ

周囲に妨害電波があると、放送局を受信せずに周波数が停止することがあります。

自動選局を止めるには

もう一度 [-/◀◀] または [+/▶▶] を押す

FM ステレオ放送で雑音が多いときは **A**

音声をモノラルにして雑音を少なくします。

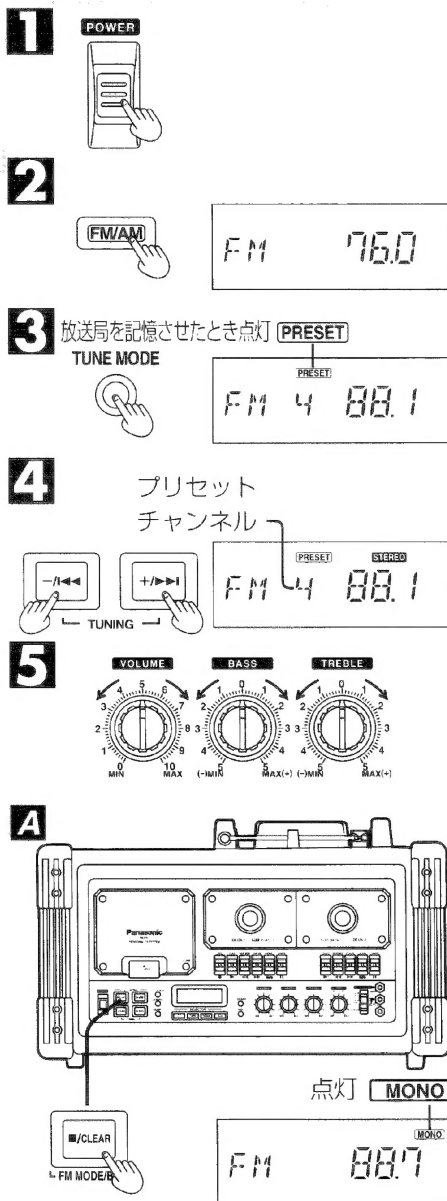
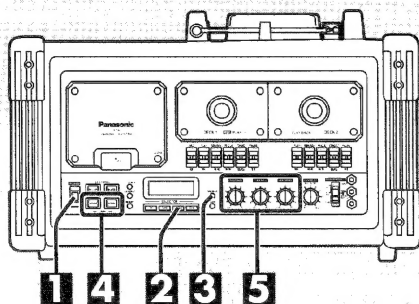
[FM MODE/BP] を押して、“MONO” を点灯させる。

モノラル音声になりますが、雑音が減って聞きやすくなります。

通常は“MONO”を消しておいてください。ステレオ放送はステレオで、モノラル放送はモノラルで聞くことができます。

お知らせ

乗り物や建物の中では、電波が弱まり聞こえにくいことがあります。できるだけ窓際でお聞きください。



テープを聞く

再生できるテープ

本機では、ハイポジション、メタルポジションのテープの特性を活かすことができません。

Normal position/ TYPE I	○
High position/ TYPE II	×
Metal position/ TYPE IV	×

デッキ 1、2 のどちらでも再生できます。

演奏

- 1 [POWER] を押す** 電源が入ります。
- 2 [TAPE] を押す** テープに切り換わります。
- 3 [■/▲ STOP/EJECT] を押してカセットふたを開け、テープを入れる。**
カセットふたを手で閉めます。
- 4 [▶ PLAY] を押す**
再生が始まります。
- 5 音量、音質を調整する**
[VOLUME] : 音量
[BASS] : 低音部
[TREBLE] : 高音部

再生を止めるには

[■/▲ STOP/EJECT] を押す。

フルオートストップ機能について

再生・録音中または早送り・巻き戻し中、テープ終端に来ると自動的に停止します。

早送り・巻き戻しをする	
[◀◀] ・ [▶▶]	停止中に押す。
聞きたいところを探す	
[◀◀] ・ [▶▶]	再生中に押す。
一時停止する	
[]	再生中に押す。再び再生するにはもう一度押す

お願い

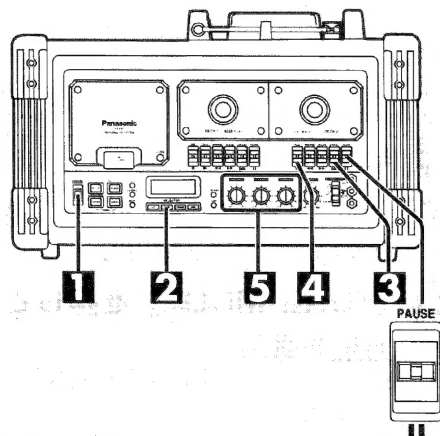
早送り・巻き戻し中に [▶ PLAY] を押さないでください。テープが回転部に巻き込まれる恐れがあります。

必ず [■/▲ STOP/EJECT] を押して早送り・巻き戻しを止めてから [▶ PLAY] を押してください。

2本のテープを続けて聞くには

(デッキ2の片面→デッキ1の片面)

- デッキ2の再生を始める
- デッキ1の [|| PAUSE] と [▶ PLAY] を押しておく。



- 1** **POWER**
- 2** **TAPE**
- 3** **STOP/EJECT**

再生を始める面を上
テープが見える方を手前
- 4** **PLAY**
- 5** **VOLUME BASS TREBLE**

CD を聞く

- 1** [POWER] を押す
電源が入ります。
- 2** [CD] を押す
CD に切り換わります。
- 3** CD ふたを開け、CD を入れる
- 4** CD ふたを閉める
- 5** [▶/||] を押す
演奏が始まります。
最終曲まで演奏して自動的に停止します。
- 6** 音量、音質を調整する
[VOLUME] : 音量
[BASS] : 低音部
[TREBLE] : 高音部

演奏を止めるには

[■/CLEAR] を押す。

曲を飛び越すには (スキップ)	
[←/1◀◀] · [+/▶▶]	飛び越す回数だけポンと押す。
早送り、早戻しをする (サーチ)	
[←/1◀◀] · [+/▶▶]	演奏中または一時停止中に長押しする。
一時停止する	
[▶/]	演奏中に押す。 再び演奏するには、もう一度押す。

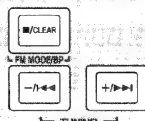
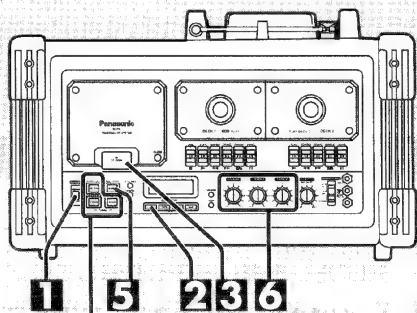
お願い

- 演奏中に [CD OPEN] を押さないでください。
CD に傷が付くおそれがあります。
- 他の機器 (ラジオ・TV など) に雑音が入ったら、できるだけ本機を他の機器から離してご使用ください。

お知らせ

本機は、プログラム演奏 (12 ページ)、リピート演奏 (13 ページ)、ランダム演奏 (14 ページ) などの演奏モードがありますが、以下のようなときは、それらの演奏モードは解除されます。

- 電源コードを抜いたとき
- [CD OPEN] を押して CD トレイを開いたとき



- 1** **POWER**
 The display shows "NO II 15C".
- 2** CD の入っていないことを表します
 The display shows "NO II 15C".
- 3** 文字のある面を上 to the CD tray. The display shows "Cd 10 46:05".
- 4** CD の曲数 総演奏時間. The display shows "Cd 10 46:05".
- 5** 演奏中の曲番 演奏中の曲の経過時間. The display shows "Cd 1 0:01".
- 6** VOLUME, BASS, TREBLE. The display shows "Cd 1 0:01".

演奏

CD を聞く

好みの曲を予約順に聞く (プログラム演奏)

最大 24 曲まで予約できます。

準備：“**RANDOM**” が点灯していたら、[CD PLAY MODE] を押して表示を消してください。

- 1** [-/◀◀]、[+/>▶▶] を押して、
予約したい曲番を表示させる
- 2** [MEMORY] を押す
- 3** **1**、**2** をくり返して、続けて予約
する
- 4** [▶/||] を押す
予約順に演奏し、自動的に停止します。

プログラムの内容を取り消すには

停止中に [■/CLEAR] を押す **A**

“CLR” を表示し、予約曲がすべて取り消されます。

“——：——” と表示されたら

予約曲の合計演奏時間が 120 分を超えました。

ただし、予約や演奏はできます。

“FULL” と表示されたら

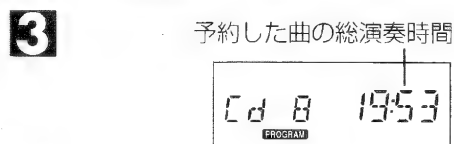
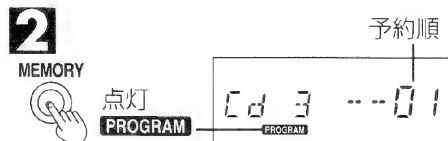
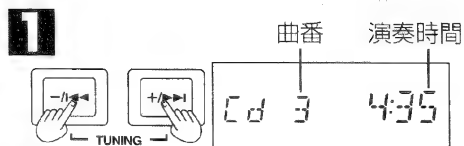
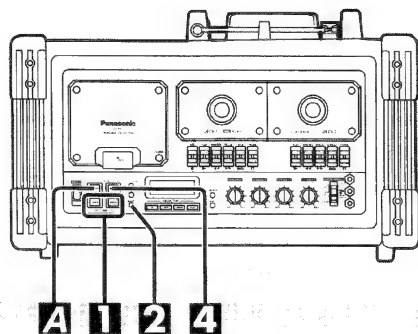
すでに 24 曲予約されています。これ以上予約できません。

予約内容の記憶について **B**

演奏が終了すると、右図のような表示が点灯し、予約内容が記憶されていることを表します。

この状態で、以下のことができます。

- [▶/||] を押して、予約した順に演奏する
- [-/◀◀]、[+/>▶▶] を押して、予約内容を確認する (押すたびに、曲番と演奏順が表示されます。)



CDを聞く

演奏をくり返す(リピート)

[CD PLAY MODE] を押して、

- A** “1-🔄” (一曲をくり返すとき) または、
B “ALL-🔄” (全曲をくり返すとき) を点灯させる

押すたびに: 1-🔄 → ALL-🔄 → RANDOM
 ↑ 消灯 ←

好みの曲を選んでくり返す

- 12 ページの手順 1 ~ 3 で好みの曲を予約する
- [CD PLAY MODE] を押して、“ALL-🔄” を点灯させる
- [▶/⏮] を押して演奏を始める

解除するには

“1-🔄” または “ALL-🔄” 表示が消えるまで [CD PLAY MODE] をポンポンと押す。

聞きたい部分をくり返す(A-Bリピート)

- 1** 演奏中に、リピートを始めたいところ(A点)で、[A-B REPEAT] を押す
- 2** リピートを終えたいところ(B点)で、[A-B REPEAT] を押す

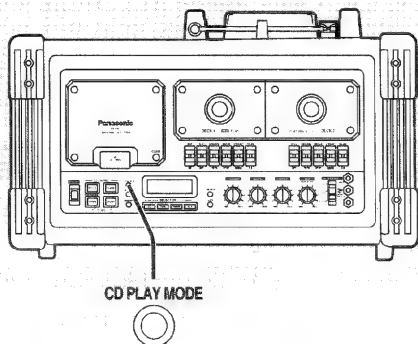
解除するには

[A-B REPEAT] を押して“A🔄B”表示を消す。
 次のようなときもA-Bリピートは取り消されます。

- [■/CLEAR] を押したとき
- [-/⏮], [+ /▶▶] をポンポンと押したとき

お知らせ

- プログラム演奏・ランダム演奏中は、A-Bリピート演奏はできません。
- リピート演奏中に[A-B REPEAT]を押すと、A-Bリピート演奏に切り換わります。
 (ただし、A-Bリピートを解除すると、リピート演奏に戻ります。)



A

CD PLAY MODE



点灯

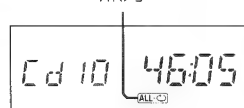


B

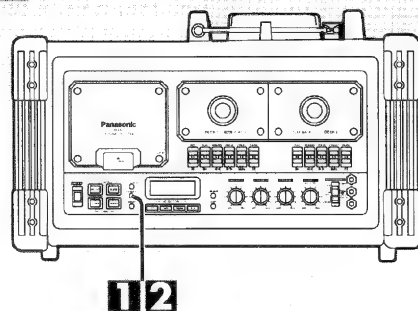
CD PLAY MODE



点灯



C

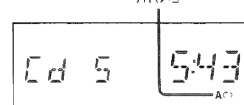


1

A-B REPEAT



点灯

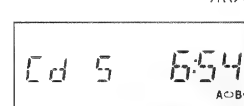


2

A-B REPEAT



点灯



演奏

順不同に聞く (ランダム演奏)

1. [CD PLAY MODE] を押して “**RANDOM**” を点灯させる **A**

押すたびに： **1-🔄** → **ALL-🔄** → **RANDOM**
 ↑ 消灯 ↓

2. [▶/||] を押す

順不同に全曲を演奏して自動的に停止します。

解除するには

[CD PLAY MODE] を押して、“**RANDOM**” を消す。

お知らせ

- 好みの曲だけを選んでランダム演奏することはできません。
- ランダム演奏中は、[←/⏮]を押してスキップできません。

録音の前に

録音できるテープ

Normal position/ TYPE I	○
High position/ TYPE II	×
Metal position/ TYPE IV	×

本機では、ハイポジション、メタルポジションのテープを使うと、正しく録音・消去されません。

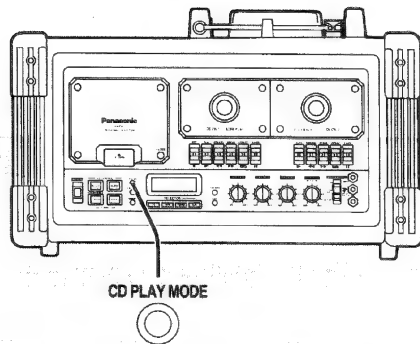
テープのはじめから録音するとき **B**

録音できないリーダーテープ部を送り出して、録音がすぐ開始できるようにしておきます。

お知らせ

- 録音レベルは自動的に設定されます。
- 録音中に音量や音質を変えても録音されるテープには影響しません。
- 録音中に、本機とテレビを近づけると、テレビから出る電波の影響で雑音が入ることがあります。

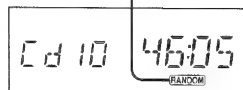
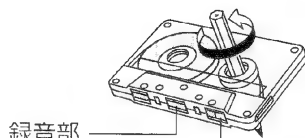
あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。



A

CD PLAY MODE

点灯 ☐ RANDOM

**B**

録音部

リーダーテープ
(録音できない)

CDを録音する(デッキ1のみ)

ノーマルポジションのテープが使えます。

準備：●電源を入れる。

●CDを入れる(11ページ)

1 [CD] を押す

CDに切り換わります。

2 デッキ1のカセットふたを開け、テープを入れる(10ページ)

3 [●REC] を押す

[▶PLAY] も押し込まれ、録音が始まります。

4 [▶/II] を押す

CDの演奏が始まります。

録音を止めるには

デッキ1の[■/▲STOP/EJECT]を押す。

(CDは止まりません。)

録音を一時停止するには

デッキ1の[II PAUSE]を押す。

(CDは止まりません)

録音を再開するには、もう一度押す。

CDの演奏が先に終わると

CDは止まり、テープは録音を続けますので、デッキ1の[■/▲STOP/EJECT]を押してテープを止めてください。

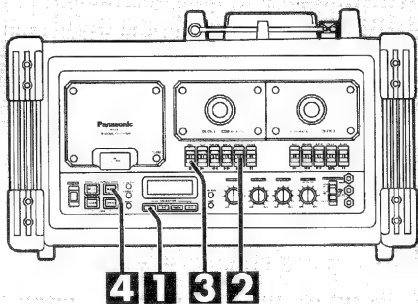
テープの録音が先に終わると

録音は止まり、CDは演奏を続けます。

[■/CLEAR]を押して、CDを止めてください。

続けて裏面に録音するときは

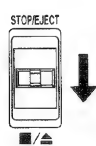
1. [+ / ▶▶]を押して、途切れた曲の頭出しをする
2. テープを裏返してから、上記手順**3**、**4**をする



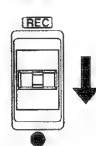
1



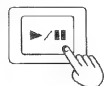
2



3



4



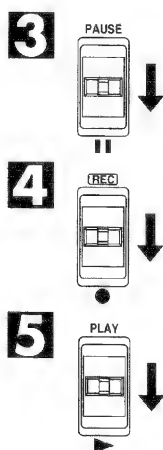
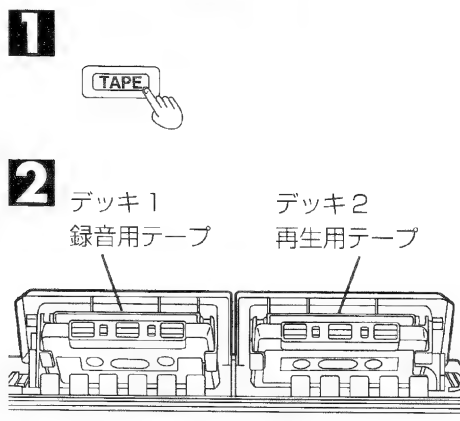
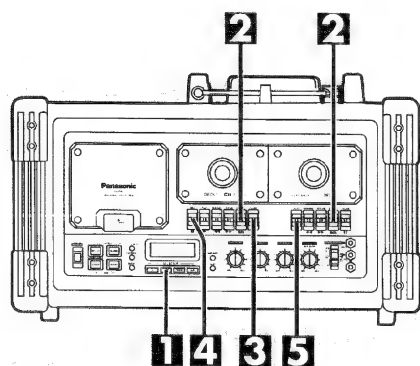
録音

テープからテープへ録音する (テープダビング)

ノーマルポジションのテープが使えます。

準備：電源を入れる。

- 1** **[TAPE]** を押す
テープに切り換わります。
- 2** **両方のデッキにテープを入れる
(10 ページ)**
録音用：デッキ 1
再生用：デッキ 2
- 3** **デッキ 1 の [II PAUSE] を押す**
- 4** **[● REC] を押す**
▶ **PLAY** も押し込まれます。
- 5** **デッキ 2 の [▶ PLAY] を押す**
デッキ 2 の再生とデッキ 1 の録音が同時に
始まります。(シンクロスタート)



録音を止めるには

デッキ 1 の [■/▲ STOP/EJECT] を押す。
(デッキ 2 は止まりません。)

録音を一時停止するには

デッキ 1 の [II PAUSE] を押す。
(デッキ 2 は止まりません。)

録音を再開するには、もう一度押す。

再生用テープのおもて面が先に終わると

デッキ 2 は止まり、デッキ 1 は録音を続けます。
デッキ 1 の [■/▲ STOP/EJECT] を押して、
デッキ 1 を止めてください。

再生用テープの裏面を続けて録音するときは

デッキ 2 のテープを裏返してから、上記手順
3～5 をしてください。

録音用テープのおもて面が先に終わると

デッキ 1 は止まり、デッキ 2 は再生を続けます。
デッキ 2 の [■/▲ STOP/EJECT] を押して、
デッキ 2 を止めてください。

録音用テープの裏面に続けて録音するときは

デッキ 1 のテープを裏返してから、上記手順
3～5 をしてください。

ラジオ放送を録音する

(デッキ1のみ)

ノーマルポジションのテープが使えます。

準備：電源を入れる

- 1** [FM/AM] を押して、バンドを選ぶ
- 2** デッキ1のカセットふたを開け、テープを入れる (10ページ)
- 3** 放送局を選ぶ (8、9ページ)
- 4** [●REC] を押す
[▶PLAY] も押し込まれます。
録音が始まります。

録音を止めるには

[■/▲STOP/EJECT] を押す。

録音を一時停止するには

[||PAUSE] を押す。

録音を再開するには、もう一度押す。

AM放送録音時、雑音を少なくするには

[FM MODE/BP] を押す。

押すたびに： bP 1 ↔ bP 2

雑音の少なくなる方にしてください

おやすみタイマーを使う

電源が切れるまでの時間を最大2時間まで設定できます。

[SLEEP] を押して、好みの時間を4種類の中から選ぶ **A**

押すたびに： 30 → 60 → 90 → 120 (単位：分)

↑ OFF (解除) ↓

設定した時間が過ぎると電源が切れます。

解除するには

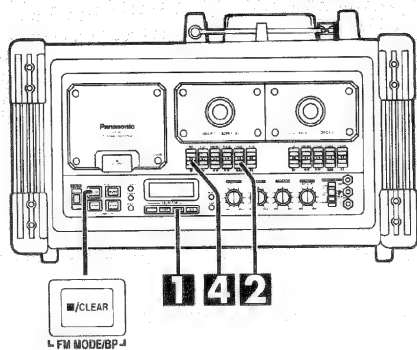
[SLEEP] をポンポンと押して、“OFF” を表示させる。 **B**

動作中に残り時間を確かめるには

[SLEEP] を押す

残り時間を変えるには

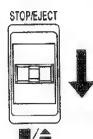
[SLEEP] を押し、残り時間を表示している間に、好みの時間になるまで [SLEEP] をポンポンと押す。



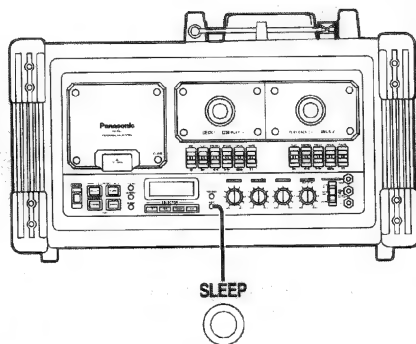
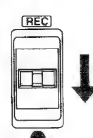
1



2



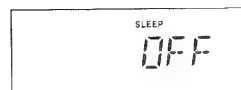
4



A



B



録音

タイマー

1

マイクを使う A

準備：電源を入れ、[CD] を押す。

マイクを接続する

プラグタイプ：モノラル M6（使用時は、端子のキャップをはずしてください。）

推奨品： RP-VK25・RP-VK45（別売り）
（RP-VK25・RP-VK45 をご使用になるときは、マイクに付属のプラグアダプターをお使い下さい。）

本機を拡声器として使う

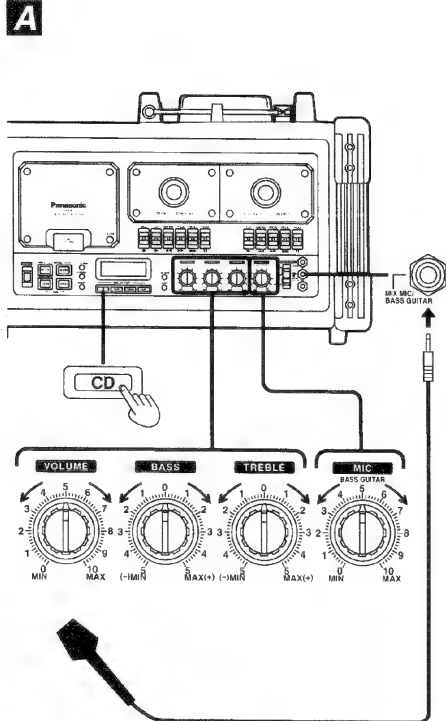
1. マイクに向かって音声を出す
2. 本機の音量・音質を調整したあと、[MIC BASS GUITAR] でマイクの音量を調整する

マイクから録音する

1. デッキ 1 にテープを入れる
2. デッキ 1 の [●REC] を押す
[▶PLAY] も押し込まれ、録音が始まります。
3. マイクに向かって音声を出す

お願い

マイクを使用中にハウリング（ピーという音）が起きたら、マイクをスピーカーから離すか、マイクボリュームや本体の音量を下げてください。



ベースギターを使う B

準備：電源を入れ、[CD] を押す。

ベースギターを接続する

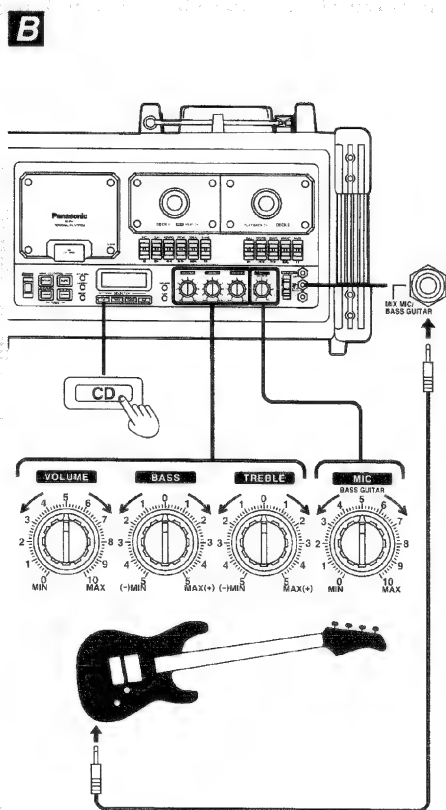
プラグタイプ：モノラル M6（使用時は、端子のキャップをはずしてください。）

本機をアンプとして使う

1. ベースギターを演奏する
2. 本機の音量・音質を調整した後、[MIC BASS GUITAR] でベースギターの音量を調整する

ベースギターの音を録音する

1. デッキ 1 にテープを入れる
2. [●REC] を押す
[▶PLAY] も押し込まれ、録音が始まります。
3. ベースギターを演奏する



エレキギター・キーボードを使う

準備：電源を入れる

エレキギター・キーボードを接続する **A**

プラグタイプ：モノラル M6（使用時には端子のキャップをはずしてください。）

お知らせ

キーボードは、機種によっては本機の外部入力端子（AUX IN）に接続して使えるものもあります。

本機をアンプとして使う **B**

1 【SELECTOR】で、演奏モードを選ぶ

GUITAR DIST：エレキギターを、ディストーションの音で演奏できます

GUITAR NOR：エレキギターを、弾いたままの音で演奏できます

KEYBOARD：キーボードの演奏ができます

2 【CD】を押す

3 音量、音質を調整する

[VOLUME]：音量

[BASS]：低音部

[TREBLE]：高音部

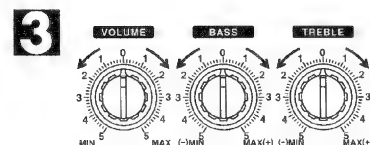
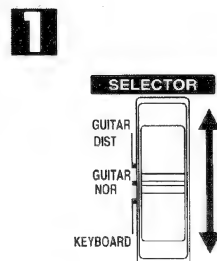
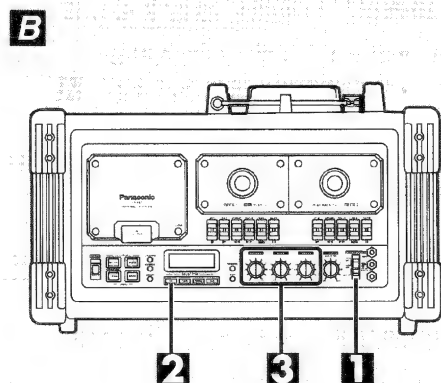
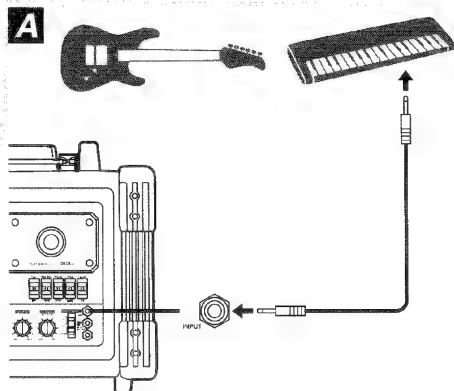
4 エレキギター・キーボードを演奏する

お知らせ

- 演奏モードが正しく設定されていなければ、それぞれの楽器の特性を活かした演奏ができません。
- 本機のディストーションの音色は、1種類だけです。好みの音色に変えたいときは、演奏モードをGUITAR NORに合わせて、市販のエフェクターを使用して音色を変えてください。

エレキギター・キーボードの音を録音する

1. デッキ1にテープを入れる
2. デッキ1の【●REC】を押す
【▶PLAY】も押し込まれます。
3. エレキギター（またはキーボード）を演奏する



他の機器と組み合わせる

接続する機器の説明書もあわせてご覧ください。

準備：電源を入れる

他の機器を本機で聞くには

準備：他の機器を本機に接続する **A**

- 1 [AUX] を押す
- 2 外部機器の演奏を始める

外部機器から本機に録音するには

準備：●デッキ1にテープを入れる

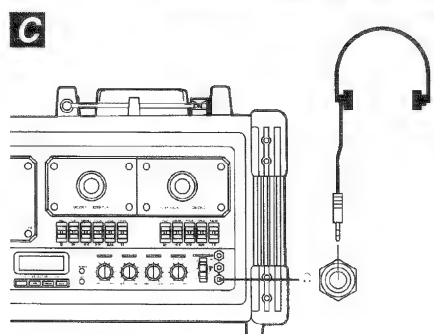
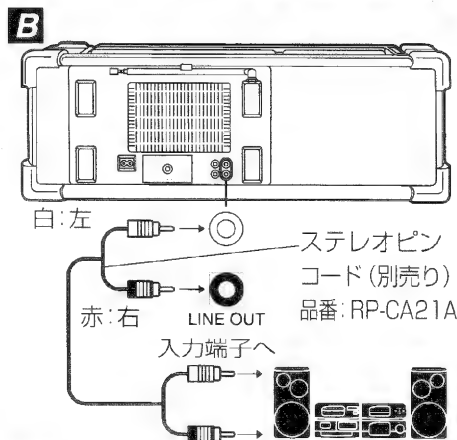
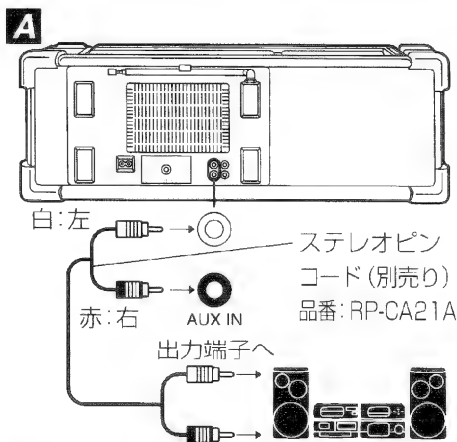
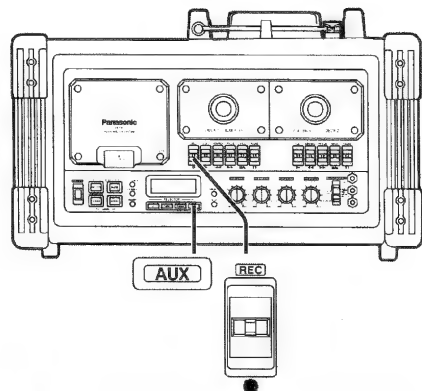
●他の機器を本機に接続する **A**

- 1 [AUX] を押す
- 2 デッキ1の[●REC]を押して録音を始める
- 3 外部機器の演奏を始める

本機の音を他の機器で録音・演奏する

準備：他の機器を本機に接続する **B**

- 1 他の機器を、外部入力モードにする
- 2 (録音の場合のみ) 他の機器で録音を始める
- 3 本機の演奏をはじめる



ヘッドホンで聞く

- 接続するときは、音量を下げてください。
- 耳を刺激するような大きな音量で長時間聞くことはさけてください。

プラグタイプ：ステレオ M6 (使用時には端子のキャップをはずしてください。)

推奨品：RP-HT300、RP-DJ1200 (別売り)
(RP-HT300 や、RP-DJ1200 をご使用になるときは、ヘッドホンに付属のプラグアダプターをお使い下さい。)

音のエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。特に静かな夜間には窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。



音のエチケット
シンボルマーク

ミキシングをする

ミキシングの組み合わせ

- **A**、**B**、**C**の中から、それぞれ1種類ずつ音源を選んで組み合わせることができます。(合計36パターン)
- **A**、**B**、**C**の枠の中の音源同志を組み合わせることはできません。

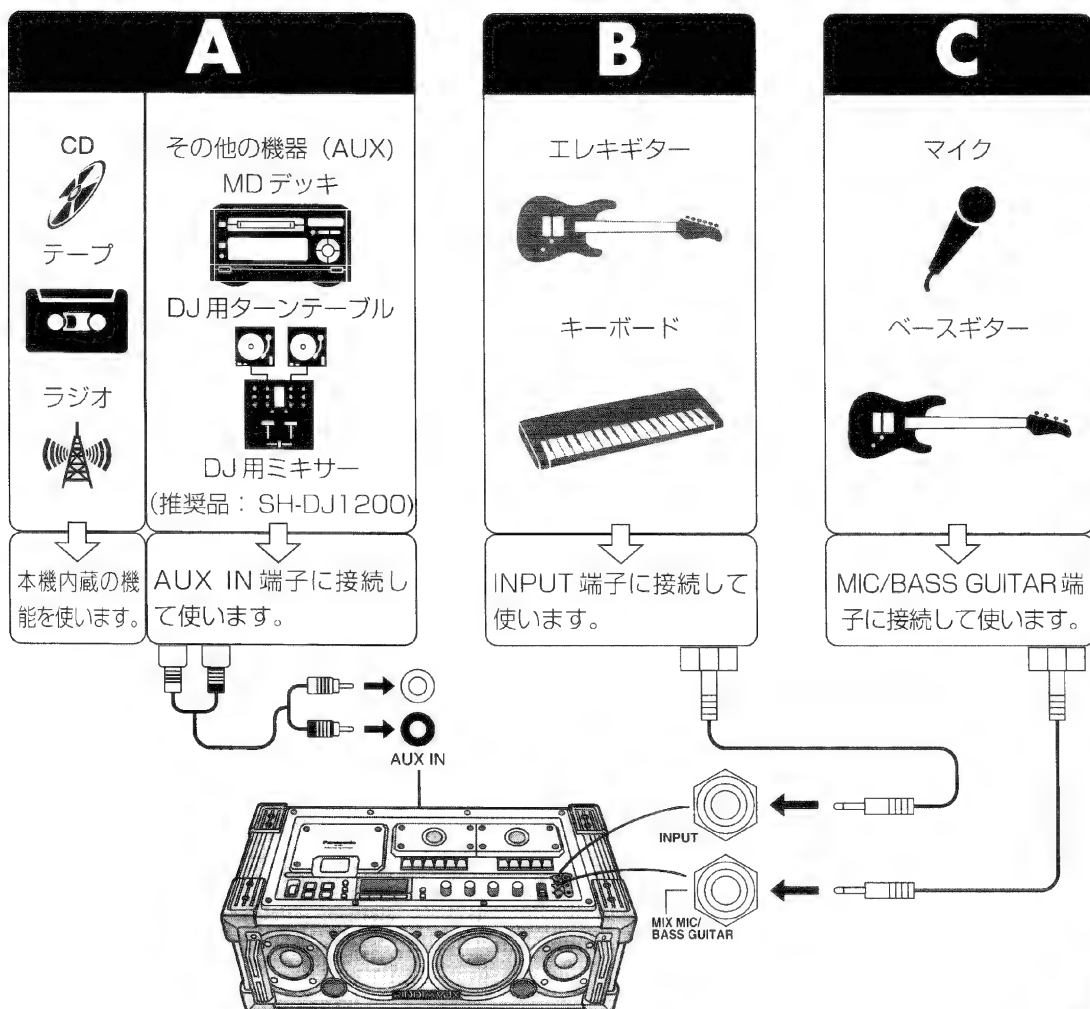
ミキシング時の音量・音質の調整

下の表にしたがって、各音源の音量・音質を調整してください。

音源	音量・音質を調整するために使用する箇所
A ・ B ・ C 全体	本機の [VOLUME]・[BASS]・[TREBLE]
B	エレキギター・キーボード本体の音量調整つまみ
C	本機の [MIC BASS GUITAR] (ベースギターは、それ本体の音量調整つまみでも調整できます。)

- **A**の音源と**B**・**C**の音源をミキシングするとき

1. まず、本機の [VOLUME]・[BASS]・[TREBLE] で**A**の音量・音質を調整する
2. **B**・**C**の音量を調整する



その他の機能

ミキシングをする

こんな使いかたができます

カラオケをする **A**

カラオケのテープやCDに合わせて、マイクで歌えます。

1. マイクを接続する (18 ページ)
2. カラオケのテープまたはCDを演奏し、その演奏に合わせてマイクで歌う

お知らせ

音声多重のテープやCDを使っても、歌手の声を消すことはできません。

エレキギターで同じフレーズをくり返し練習する (A-B リピート) **B**

CDに合わせて、エレキギターを弾く練習をしているとき、苦手なフレーズだけを重点的にくり返し練習できます。

1. エレキギター (19 ページ) を接続する
2. CDの曲の中から練習したいフレーズを、A-B リピート演奏する (13 ページ)
3. CDの演奏に合わせてエレキギターを演奏する

自分の演奏を録音してデモテープを作る **C**

テープに合わせてエレキギターとベースギターを弾き、その音を録音する。

1. エレキギター (19 ページ) とベースギター (18 ページ) を接続する
2. デッキ1に録音用テープを入れ【● REC】を押す
デッキ1の【▶ PLAY】も押し込まれます。
録音が始まります。
3. デッキ2に再生用テープを入れ【▶ PLAY】を押す
デッキ2の再生が始まります。
4. テープの再生にあわせてエレキギターとベースギターを弾く

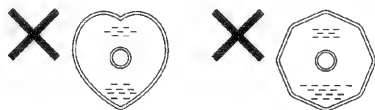
ミキシング機能は、他にもいろいろな使いかたができます。あなたの工夫でさらにクリエイティブな使いかたを見つけてください。



CD について



のマークが入ったものをご使用ください。ただし、ハート型や八角形など、特殊形状の CD は演奏できない場合があります。また、演奏できる場合でも連続してご使用になると、機器の故障の原因となります。



持ち方



汚れたときは

水を含ませた柔らかい布でふき、あとは空ぶきしてください。



露がついたら

急に暖かい部屋に持ち込んだときなど、露がついた場合は、乾いた布でふいてください。

取扱上のお願

CD そのものの破損の原因となるほか、機器の故障の原因ともなりますので、次のことをお守りください。

- 鉛筆やボールペンなどで字を書かない。
- レコードクリーナーやシンナー、ベンジン、アルコールでふかない。
- 紙やシールを貼らない。(セロハンテープやレנטアル CD のラベルなどの糊がはみ出したり、はがしたあとのあるものは使わないでください。)
- 傷付き防止用のプロテクターなど当社指定外の市販品は使わない。

保管しておくとき

次のような場所はさけてください。

- 直射日光の当たるところ
- 湿気やほこりの多いところ
- 暖房器具の熱が直接当たるところ

テープについて

100 分を超えるテープについて

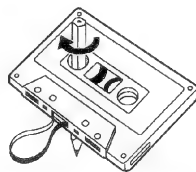
長時間の使用には便利ですが、テープが薄く伸びやすいため、こきざみな走行、停止、早送り、巻き戻しなどをくり返すと、テープが回転部分に巻き込まれることがありますので、ご注意ください。

エンドレステープについて

使用方法を誤るとテープが回転部分に巻き込まれます。必ず、テープについている使用説明をお読みください。

テープのたるみは巻きとっておいてください

テープに傷がついたり、切れたりする原因になります。



録音したテープを誤って消さないために

A 面側



B 面用のため

もう一度録音するには



セロハンテープなどを貼る

保管しておくとき

次のような場所はさけてください。

- 直射日光の当たるところ
- 高温 (35℃以上) 高湿 (80% 以上) のところ
- 磁気のあるところ (スピーカーの近くやテレビの上など)


お手入れ

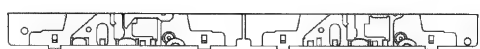
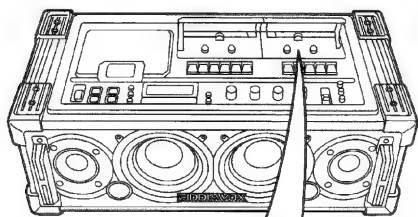
本体が汚れたら

柔らかい布でふいてください。ひどい汚れは、薄めた台所用洗剤（中性）を含ませた布でふき、後はからぶきをしてください。

- アルコールやシンナーは使わないでください。
- 科学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。

テープをよい音でお楽しみいただくために

ヘッドなどのテープが触れる部分（下図の ) をときどきふくことをおすすめします。



推奨品：クリーニングキット
（品番：RP-919、別売り）

CD レンズのお手入れ

レンズに付着したほこりや指紋による音飛びを防ぐために、定期的なお手入れをおすすめします。

推奨品：CD レンズクリーナー
（品番：RP-CL510、別売り）

著作権について

- 放送やレコードその他の録音物（ミュージックテープ、カラオケテープなど）の音楽作品は、音楽の歌詞、楽曲などと同じく、著作権法により保護されています。
- 従って、それらから録音したテープを売ったり、配ったり、譲ったり、貸したりする場合、および営利（店のBGMなど）のために使用する場合には、著作権法上、権利者の許諾が必要です。
- 使用条件は、場合によって異なりますので、詳しい内容や申請、その他手続きについては、「日本音楽著作権協会」（JASRAC）の本部または最寄りの支部にお尋ねください。

日本音楽著作権協会

本部	☎ (03) 3502-6551
北海道支部	☎ (011) 221-5088
盛岡支部	☎ (0196) 52-3201
仙台支部	☎ (022) 264-2266
大宮支部	☎ (048) 643-5461
東京支部	☎ (03) 3562-4455
西東京支部	☎ (03) 3232-8301
東京イベント コンサート支部	☎ (03) 5286-1671
立川支部	☎ (0425) 29-1500
横浜支部	☎ (045) 662-6551
静岡支部	☎ (054) 254-2621
中部支部	☎ (052) 583-7590
北陸支部	☎ (0762) 21-3602
京都支部	☎ (075) 251-0134
大阪支部	☎ (06) 244-0351
大阪北支部	☎ (06) 244-7077
神戸支部	☎ (078) 322-0561
中国支部	☎ (082) 249-6362
四国支部	☎ (0878) 21-9191
九州支部	☎ (092) 441-2285
鹿児島支部	☎ (0992) 24-6211
那覇支部	☎ (098) 863-1228

故障かな!?

修理を依頼される前に、この表で症状を確かめてください。なお、これらの処置をしても直らない場合や、この表以外の症状は、お買い上げの販売店にご相談ください。

黒丸の数字は、各参照ページを表します。

	こんなときは	ここをご確認ください	処置
CD部	"E" が表示された。	誤った操作をしていませんか。	説明書を読んで操作し直す。
	演奏が始まらない。 曲数などの表示が出ない。	CD が表裏逆に入っていない せんか。	文字のある面を上にして入れる。⑪
		寒いところから急に暖かい ところに持ってきたなど、 急激な温度変化がありません でしたか。	レンズ部の露付きが考えられます。 約 1 時間待ってから使用する。
	特定の個所が正しく演奏さ れない。	CD が汚れていませんか。	柔らかい布でふく。②③
		CD に傷がありませんか。	CD を取り換える。
テープ部	録音できない。	テープのつめを折っていま せんか。	折った部分にセロハンテープを貼る。 ②③
	雑音が多い。 音質がよくない。	ヘッドが汚れていませんか。	カセットデッキ内部を手入れする。 ②④
ラジオ部	雑音が多く、うまく選局で きない。	アンテナの向きなどが悪く ありませんか。	アンテナを調整してみる。⑧
	雑音が入る。	他の機器のリモコンを近く で使っていませんか。	他の機器のリモコンを離す。
		テレビと同時に使用してい ませんか。	テレビから離す。またはテレビの電 源を切る。
	AM 放送が受信できない。	周波数が 10 kHz ステッ プになっていませんか。 〔FM/AM〕が何らかの原 因で押し続けられたとき、 AM の周波数が 9 kHz ス テップから 10 kHz ステッ プに切り換わることがあり ます。)	周波数を、9 kHz ステップにする。 "FM" 表示中に、〔FM/AM〕を押し 続ける (約 10 秒間) ●AM の周波数表示が約 10 秒間点 滅し、9 kHz ステップに切り換わ り、点滅が止まります。 ●切り替えると、AM の記憶させた 放送局は消えます。
電子楽器部	キーボードの音が大きすぎる。 ギター之音が小さすぎる。	演奏モードが間違っていま せんか。	正しい演奏モードに切り換える。①⑨
	楽器の音が出ない	楽器本体の音量が最小になっ ていませんか。	楽器本体の音量を調整する

保証とアフターサービス

(よくお読みください)

**修理・お取り扱い・お手入れ
などのご相談は…
まず、お買い上げの販売店へ
お申し付けください**

転居や贈答品でお困りの場合は…

- 修理は、サービス会社・販売会社の「修理
ご相談窓口」へ！
- その他のお問い合わせは、「お客様ご相談セ
ンター」へ！
- 保証書（別添付）

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確か
め、お買い上げの販売店からお受け取りくださ
い。よくお読みのあと、保存してください。

保証期間：お買い上げ日から本体 1 年間

修理を依頼されるとき

25 ページの表に従ってご確認のあと、直らな
いときは、まず電源プラグを抜いて、お買い上
げの販売店へご連絡ください。

- 保証期間中は
保証書の規定に従って、出張修理させてい
ただきます。
 - 保証期間が過ぎているときは
修理すれば使用できる製品については、ご
希望により有料で修理させていただきます。
ただし、RX-PA7 の補修用性能部品の最低
保有期間は、製造打ち切り後 6 年です。
- 注）補修用性能部品とは、その製品の機能を
維持するために必要な部品です。

●修理料金の仕組み

修理料金は、技術料・部品代・出張料など
で構成されています。

技術料 は、診断・故障個所の修理及び部
品交換・調整・修理完了時の点検
などの作業にかかる費用です

部品代 は、修理に使用した部品および補
助材料代です。

出張料 は、製品のある場所へ技術者を派
遣する場合の費用です。

お客様ご相談センター

0120-878-365

フリーダイヤル（料金無料）

365日／受付9時～20時

International Customer Care Center 海外ご相談センター

Consultation about products of specifications (export
models, overseas production models and tourist models)
海外仕様商品（輸出商品・海外生産品・ツーリスト製品）に
ついてのご相談は…

TOKYO ☎ (03)3256-5444

OSAKA ☎ (06)645-8787

所在地、電話番号が変更になることがありますので、あらかじめ
ご了承ください。

0597

修 理 ご 相 談 窓 口

北 海 道 地 区

札幌 ☎ (011)894-1251 札幌市厚別区厚別南 2丁目17-7	帯広 ☎ (0155)33-8477 帯広市西19条南 1丁目7-11
旭川 ☎ (0166)31-6151 旭川市2条通21丁目 左1号	函館 ☎ (0138)53-7107 函館市山の手1丁目 1-15

東 北 地 区

青森 ☎ (0177)39-9712 青森市大字ハッ役 字矢作1-37	宮城 ☎ (022)375-2512 仙台市泉区市名坂 字清水端59-2
秋田 ☎ (0188)26-1600 秋田市御所野湯本 2丁目1-2	山形 ☎ (0236)41-8100 山形市流通センター 3丁目12-2
岩手 ☎ (0196)39-5120 盛岡市羽場13地割 30-3	福島 ☎ (0243)34-1301 福島県安達郡本宮町 字岡ノ内65

首 都 圏 地 区

栃木 ☎ (028)632-8450 宇都宮市中央1丁目 8-13	柏 ☎ (0471)63-8905 柏市北柏1丁目6-6
群馬 ☎ (0273)52-1217 高崎市秋原町沖中 205-18	東京 ☎ (03)5477-9780 東京都世田谷区宮坂 2丁目26-17
岡毛 ☎ (0276)25-6870 太田市東新町244-1	山梨 ☎ (0552)22-5171 甲府市下飯田2丁目 1-27
水戸 ☎ (029)225-0119 水戸市柳河町309-2	神奈川 ☎ (045)847-9720 横浜市港南区日野 5丁目3-16
つくば ☎ (0298)55-7860 つくば市柳園2丁目 1-13	新潟 ☎ (025)286-0171 新潟市東明1丁目 8-14
埼玉 ☎ (048)728-8960 桶川市赤堀2丁目4-2	佐渡 ☎ (0259)23-2898 両津市秋津字境108-1
千葉 ☎ (043)251-3537 千葉市稲毛区園生町 369-1	長岡 ☎ (0258)28-2111 長岡市寺島町308-12
船橋 ☎ (047)334-5111 船橋市本中山6丁目 11-7	上越 ☎ (0255)44-6871 上越市大字藤野新田 字大割353-3

中 部 地 区

石川 ☎ (0762)94-2683 石川県石川郡野々市町 稲荷3丁目80	名古屋 ☎ (052)614-3136 名古屋市中区 西又兵衛町3丁目48
富山 ☎ (0764)32-8705 富山市寺島1298	岡崎 ☎ (0564)55-5719 岡崎市岡町南久保28
福井 ☎ (0776)54-5606 福井市開発4丁目112	岐阜 ☎ (058)323-6010 岐阜県本巣郡北方町 高屋太子2丁目30
長野 ☎ (0263)58-0073 松本市大字笹賀 7600-7	高山 ☎ (0577)33-0613 高山市花岡町3丁目82
静岡 ☎ (054)287-9000 静岡市西島765	三重 ☎ (0592)55-1380 久居市森町字北谷 1920-3

近 畿 地 区

滋賀 ☎ (0775)82-5021 守山市勝部町260	奈良 ☎ (07435)9-2770 大和郡山市椎木町 404-2
京都 ☎ (075)672-9636 京都市南区 上鳥羽石橋町20-1	和歌山 ☎ (0734)75-1311 和歌山市中島499-1
大阪 ☎ (06)359-6225 大阪市北区本庄西 1丁目1-7	兵庫 ☎ (078)272-6645 神戸市中央区 夢/繕町3丁目2-6

中 国 地 区

鳥取 ☎ (0857)26-9695 鳥取市安長295-1	浜田 ☎ (0855)22-6629 浜田市下府町 327-93
米子 ☎ (0859)34-2129 米子市米原4丁目 2-33	岡山 ☎ (086)292-1162 岡山県都窪郡早島町 矢尾807
松江 ☎ (0852)23-1128 松江市西津田2丁目 10-19	広島 ☎ (082)295-5011 広島市西区南観音 8丁目13-20
出雲 ☎ (0853)21-3133 出雲市渡瀬町416	山口 ☎ (0839)86-4050 山口市錦銭司 字錦銭司団地北 447-23

四 国 地 区

香川 ☎ (0878)74-6200 香川県綾歌郡 国分寺町新名663-1	高知 ☎ (0888)66-3142 南国市岡豊町中島 331-1
徳島 ☎ (0886)98-1125 徳島県板野郡北島町 鯛浜字かや108	愛媛 ☎ (089)971-2144 松山市土居町 750-2

九 州 地 区

福岡 ☎ (092)593-9036 春日市春日公園 3丁目48	熊本 ☎ (096)367-6067 熊本市健康木町12-3
佐賀 ☎ (0952)26-9151 佐賀市本庄町 大字本庄896-2	天草 ☎ (0969)22-3125 本渡市港町18-11
長崎 ☎ (0958)30-1658 長崎市東町1949-1	鹿児島 ☎ (099)250-5657 鹿児島市与次郎 1丁目7-36
大分 ☎ (0975)56-3815 大分市萩原4丁目 8-35	大島 ☎ (0997)53-5101 名瀬市矢之脇町 10-15
宮崎 ☎ (0985)85-6530 宮崎県宮崎郡清武町 下加納336-2	

沖 縄 地 区

沖縄 ☎ (098)877-1207	浦添市城間4丁目23-11
--------------------	---------------

F0997Z2097 (D)